



## 安全なワイン展示会のために

「COVID-19 対策 展示会開催に関するガイドライン」

監修者 青木晃医師からのメッセージ

今回の「カリフォルニアワイン・グランドテイスティング 2020」の実施に際して、東京都における実効再生産数（Rt）が8月10日以降、1を切っていること、所謂第2波と言われている感染拡大が、8月初旬にはピークアウトしているという専門家の分析などを踏まえ、人数制限および効果的なCOVID-19対策を施すことによる安全なワイン展示会の開催が可能であると考えます。

試飲会が実施される環境では、会話、発語、飲食の際に口から出る飛沫やエアロゾル（マイクロ飛沫）による感染経路が最も重要な問題となり得るため、ワイン試飲時と試飲したワインを吐き出す際を除いて、マスクの常時着用をお願い致します。この点に関して、全てのご来場者のご協力が必要です。

まず、吐き出したワインが感染リスクとなり得るため、使い捨てカップの使用を推奨しております。

ワインをお手元の紙コップに吐き出す際は、コップに口を深く入れて、静かに吐き出してください。また内容物は指定の場所に静かに捨ててください。

次に、会場に入る際、また会場内においても、アルコールによるこまめな手指消毒をお願いいたします。

そして、受付や会場内においては、密にならぬよう、ソーシャルディスタンスを常に意識した行動をお願いします。特に、各出展ブースの前に立つことができる人数は原則2名、最大3名とさせていただきます。

試飲会開催中は、15分ごとに自動換気が行われ、第1部、第2部、第3部の間に清掃・除菌を行います。また、セミナーおよび試飲会場内に高性能空気清浄機「Airdog X5s」を計5台設置します。

マスク着用や三密の防止、ワインの吐き出しなどについて、スタッフや出展者から声かけさせていただくことがございますので、その際はご理解ご協力のほど、お願い申し上げます。

ご来場の皆様、そして出展者ならびにスタッフの安全を期するための皆様のご協力に感謝いたします。

2020年9月23日

レコール・デュ・ヴァン渋谷校 校長 兼  
医療法人社団優惠会 銀座よしえクリニック都立大院 院長  
青木晃